

なぎさ

京急のまちマガジン

TOWN MAGAZINE NAGISA OF KEIKYU

December 2016 **No.600**

60周年記念 特別号

スペシャルインタビュー

V6・井ノ原快彦

「愛おしいローカル感」が
今も残る、心のより所

特集

京急沿線のいま・むかし



1956年に誕生した『なぎさ』は、今年で還暦。創刊60周年を迎えました。その間、高度経済成長期、情報化時代、グローバル時代と目まぐるしく変化してきた日本。移りゆく時代を映しながらも、変わらない三浦半島と海辺の自然を享受してきた『なぎさ』の歩みを振り返ります。



1978年10月号

この年は、『書を捨てよ、町へ出よう』で知られる、歌人で劇作家・寺山修司の連載「海のジェニー」が話題に。



1956年

11月1日 創刊号 発行

表紙の絵は小糸源太郎、1ページ目には佐佐木信綱の短歌。グラビアページには高祖保(こうそたもつ)の詩も。文芸誌の風情を纏った50年代の『なぎさ』。



1970年代

70年代の表紙はファッション誌のよう。裏表紙のお中元広告もスタイリッシュ！77年は当時デビューしたてのモデル・高見恭子が表紙と巻頭を飾った。(▶本誌P.22 / プレイバックエッセイ02)



▲1975年8月号

1967年9月号

63年から月刊へ。65年頃から女性モデルが登場し、ファッション性のあるモダンなつくりになつた。



1982年10月号

表紙に身近な食材が登場するなど、生活密着型の内容に。クロスワード・パズルは人気コーナーだった。(▶本誌P.19 / クロスワード・パズル)



1980's

1970's

1960's

1950's

1975年

・三浦海岸～三崎口間開通

1983年

・東京ディズニーランド® 開業

1985年

・ビックリマンチョコが流行

1987年

・駅名を改称、冠称「京浜」から「京急」へ

1988年

・電車の冷房化率100%達成

1968年

・快速特急列車運転開始、都心乗り入れ、品川～泉岳寺間開通

1970年

・大阪で日本万国博覧会開催

1972年

・パンダ2頭が上野動物園で公開

1973年

・第一次オイルショック

1974年

・朝のラッシュ時に金沢文庫～横浜間で私鉄初の特急12両編成運転開始

1956年

・「羽田空港駅」(初代)開業

・『なぎさ』創刊

・横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市が初の政令指定都市に

1964年

・東海道新幹線、東京～新大阪間開業
・東京オリンピック開催

1966年

・野比～津久井浜間、津久井浜～三浦海岸間開通

※青字は京急グループ年譜より抜粋

なぎさの60年

60years of NAGISA



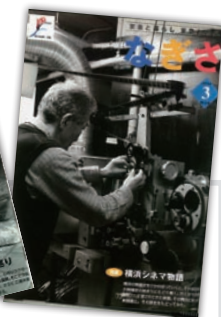
2012年4月号

NHKの連続テレビ小説『梅ちゃん先生』の舞台となった蒲田を特集。「梅屋敷駅」の駅メロディも、ドラマにちなんだ曲が流れた。



1997.98年

97年と98年は「京急と暮らし、京急と遊ぶ」をコンセプトに掲げ、表紙と特集は、地域性のあるテーマで組まれた。



1992年10月号

表紙は、88年から始まった「浮世絵風景画シリーズ」が続く。裏表紙から始まる、お出かけレポート『NAGISA探検隊が行く!』は名物コーナーに。



2016年『なぎさKids』

ファミリー層をターゲットに、初のキッズ版を発行。特集は、海辺を舞台に「外遊びで育む『生きるチカラ』」。

2005年5月号

04年からオールカラー化。話題性を追求した特集は、8ページと読み応えのあるものに。ライター・北尾トロの人気コラムが始まったのはこの年。



(▶本誌 P.20 / プレイバックエッセイ 01)

2010's

2008年

- ・京急電鉄創立110周年の一環として、駅係員と乗務員の制服を更新

2010年

- ・「羽田空港国際線ターミナル駅」開業

- ・高速道路一部無料化始まる

2012年

- ・東京スカイツリー®開業

2016年

- ・『なぎさ』創刊60周年

2000's

1998年

- ・長野オリンピック開催
- ・京急電鉄創立100周年
- ・「羽田空港駅(現・羽田空港国内線ターミナル駅)」開業

2002年

- ・FIFAワールドカップ日韓大会開催

2008年

- ・iPhoneが日本で発売開始

1990's

1989年

- ・昭和から平成へ

1993年

- ・皇太子殿下ご成婚
- ・「羽田駅(現・天空橋駅)」開業、都営浅草線方面からの直通急行列車が空港線へ乗り入れ開始

1996年

- ・ポケットモンスター発売

1996年

- ・「京急百貨店」・「ウィング上大岡」オープン



NAGISA feature02

京急沿線の いま・むかし

京急沿線には、いつ訪れても
変わらない渚の景色がある。
それは日本の原風景。
未来へと歩む沿線の
いま・むかしを巡るメモリー紀行。



『なぎさ』1986年7月号





逗子海岸にて。マリンスポーツのメッカで知られる三浦半島の最近のトレンドは、スタンドアップパドルボード。

「渚——NAGISA」には、ロマンとノスタルジーを連想させる響きがある。

日本最古の洋式灯台がある海岸線、小さな漁村にある穴場スポットの、海釣りや磯遊びができる消波ブロック、ヨットハーバーを遠目に望むリゾート感覚のビーチなど、その土地の地形や歴史によって、さまざまな顔を持つ三浦半島の海。

1986年7月号の『なぎさ』では、「今、海は夏真っ盛り ひと夏の思い出はみうら15浜で」特集。時代はパドルの始まり。シティ半島・三浦の「コピーと共に紹介された、所狭しと立てられたカラフルなビーチパラソルやヨットの写真が、日本経済のその後の状況を物語る。1975年に、都心から三浦半島・三崎エリアへの運転をすでにスタートさせていた京急の電車。品川の高層ビル群から、トンネルを抜けていくたびに変わる車窓の風景にショートトリップ気分を堪能。風光明媚な三浦の地は、都会の喧騒をひととき忘れる場所として、多くの芸能人や文豪たちもお忍びでやって来ていた。



「城ヶ島京急ホテル」前の海岸にて。天気の良い日は富士山も見え、壮大な景色は地球に抱かれた心地。



上／1980年4月号『なぎさ』。右／黙々と働く島の漁師たち。住人の多くは観光業と漁業に従事。

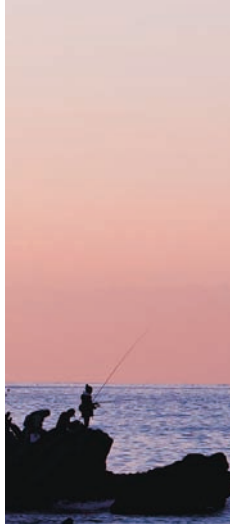


映画のロケ地にもなった、渚の風景

海に面した街が続く京急沿線では、その地の魅力を活かして、映画のロケ地になることもあった。1997年11月号の『なぎさ』では、映画『釣りバカ日誌』のロケ地となった金沢八景を特集。歌川広重の版画で知られる景勝地であり、歴史と親しみやすさが混在する街の趣が活かされた。



多くの釣り船やプレジャーボートが停泊する金沢八景・野島周辺。マンションが建ち、街の景色は変わったが、海の風景は変わらない。夜景とその光を映し込んだ水面が織りなす、今の金沢八景の夜も情緒深い。



完成当時は、鋼製箱桁形式として東洋一を誇った優美な城ヶ島大橋。見晴らしの良い景色を眺めながら、潮風を受けて歩く楽しみも。

別名・猫島と呼ばれる城ヶ島では、「島を歩けば猫に遭遇する」ほど、漁師の守り神と言われる猫が住みついている。

三浦半島の突端で 連綿と続く、漁業と磯料理

「わたしは三浦海岸の方の生まれなんですけれど、お嫁入りの時はまだ橋がかかっていなくてねエ。花嫁衣裳を着て船にゆられて島に渡ったんですよ。これは、1980年の『なぎさ』で取材した城ヶ島の「入船食堂」の女将・星野幸子さんの言葉。城ヶ島大橋は1960年に開通。当時の海上架橋の技術の粋を集めた橋梁で注目されたぞうだ。

雨はふるふる 城ヶ島の磯に
利休鼠の「雨がふる」—— 城ヶ島の雨

渡し船が唯一の手段だったそれ以前には、この歌を作詞した北原白秋をはじめ、多くの著名人が「ロマンの島」として訪れた。2013年には、外国人向け日本旅行ガイドブック『ミシユラン・グリーンガイド・ジャポン』で、エキゾチックな自然が残る場所として2つ星評価で紹介。おトク感満載の「みさきまぐるぎつぶ」による、三浦半島・日帰り旅行者客も増加中で、ますます注目を集めている。

これからの 三浦注目スポットは佐島

ここ最近、若者の移住が目立つ葉山に隣接する佐島。温暖な気候で目前に広がる海の景色はリゾート感に溢れ、著名人の別荘も点在する。今年7月にオープンした「MARINE & FARM SAJIMA」では、オーシャンビューと地元料理を独り占め。日常から隔てられた世界で、静謐な大人の時間を過ごす。



人気は地ダコのバスタランチ。三浦野菜やハーブを使ったポリウムたっぷりのサラダは食感や色合いを楽しんで。佐島で捕れた地魚や近隣農家の採れたて卵を使ったプリンも美味。

☎046-854-9820 ④横須賀市佐島 3-8-35 / 「新逗子駅」より京浜急行バスに乗りく佐島マリナ入口>バス停下車、徒歩約3分

「空港からの 新しいアクセス誕生！」 世界の玄関口を開く



1998年11月号の『なぎさ』では、その年11月に開業した羽田空港駅を、2010年9月号では、羽田空港国際線旅客ターミナルのオープンに合わせて開業した、羽田空港国際線ターミナル駅をひと足早く紹介した。当時の『なぎさ』で「巨大なエアポートシティ」と言われたターミナルの誕生は、沿線に新しい街ができたようなインパクトだった。これにより、京急線は海だけでなく空への旅にも広がり、



右／羽田空港国際線旅客ターミナルは、近未来と和テイストを融合させたモダンさ。
左／メインストリートにある江戸時代の町並みを再現した「江戸小路」。

空港付近の海上で色とりどりに飛び交う飛行機に、ひとびとは夢を見た。

それに伴い、羽田周辺の街も変わっていく。品川と羽田空港の中間地点にある京急蒲田駅では、2015年に駅直結の商業施設「ウイニングキッチン京急蒲田」をオープンし、大田区観光情報センターを設置。多言語対応の観光案内や、着付けや茶道など、外国人が日本の伝統文化に触れる体験教室を設け、国内外のひとびとを迎えている。

**変わるものと、
変わらないもの。
沿線の未来を築くのは
街のひとびと**

118年の歴史をもつ京急電鉄は、戦後の日本を支えた京浜工業地帯の基礎を形づくり、働くひとのための鉄道としても発展を遂げてきた。はじめは約2キロの路線から、品川、横浜、三浦半島、羽



然を守り続ける沿線のひとびとだ。
高度経済成長の頃から休むことなく、
煌々と輝きを放つ川崎コンビナートでは、
「工場夜景クルーズ」の名の観光船が細
い海道を通り抜ける。現在人気のこのツ
アーを手がける船長のひとりが、2016



最初(1899年)に開通した、六郷橋〜大師
間(約2キロ)を行く電車

田空港へと徐々
にエリアを拡大。
鉄道の開通に
伴って、それぞ
れの街に変化と
進化はもちろん
あったが、今も一
番の魅力は、地
元の暮らしと自

瞬間、初めて来たのに、いつかどこかで
訪れたような懐かしい気持ちになる場所。
ロマンとノスタルジーを感じる「なぎさ」
の風景は、それを愛してやまない街のひ
と達によって、これからも沿線の未来を
語り続けるだろう。

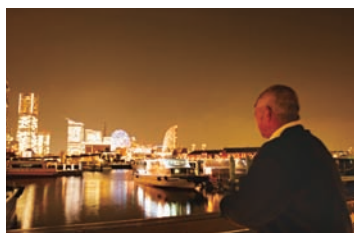
年6月号『なぎさ』に登場した永井等^{むら}さん。
以前は、羽田空港国際線の新設工事のた
めに交通船を操縦していた。「通常7〜8
年かかる工事を3年間で完成させました。
昼夜問わず海に陸に、たくさんのひとが
働いていたんだよ」。交通船の役目を終え
たいま、永井さんと船は、沿線の歴史と
魅力を伝える伝道師として活躍中。
偶然出会ったひとびとに心動かされる



2015年12月号の『なぎさ』では、進化
した京急蒲田駅を舞台に外国人モデル
を起用。スーパー銭湯の草分け的な存在
在「蒲田温泉」にて、地元の一ひとと交流。



1989年の『なぎさ』は「横浜博覧会」特集。博覧会を皮切りに、みなとみらいは華やかな街へと進化
した。ここを起点に、永井さんは京急沿線の歴史を辿る観光ツアーを実施中(☎090-3065-7537)。



周辺駅
名シーン

うめやしき
梅屋敷駅

天気の良い日は、下りホームから富士山が見えることも。夜はライトアップされた東京タワーが綺麗です！



京急蒲田駅
鈴木 孝 駅長

周辺駅
名シーン

しながわ
品川駅

夏、海水浴に向かうお客さまで下り列車が賑わう様子が好きです。



品川駅
田端 昇 駅長

周辺駅
名シーン

へいわじま
平和島駅

ホームがカーブしているので、電車が曲線を描いて停車している様子を見ることができます。



平和島駅
白取 正彦 駅長

まち
レポ

**車端部の
ボックスシート**



何年か振りに
当時の写真を再現
してみました！

小さい頃、家族で三浦へ旅行するときは、必ず車端部のボックスシートに座っていました。思い出が蘇るシートです。(北区/栗城 健輔さん)

周辺駅
名シーン

けいきゅうかわさき
京急川崎駅

駅マロディは、川崎市出身の坂本九さんになんで「上を向いて歩こう」。電車をお待ちの間、昭和の名曲をご堪能ください。



京急川崎駅
佐藤 邦彦 駅長

周辺駅
名シーン

かわさきだいし
川崎大師駅

普段はのどかな大師線ですが、お正月は川崎大師の初詣客で活気に溢れています。



川崎大師駅
小桑 哲也 駅長

周辺駅
名シーン

はねだくこう
こくないせんたーみなる
**羽田空港国内線
ターミナル駅**

駅と同じく、空港の出逢いと旅立ちも「涙もの」です。



羽田空港
国内線ターミナル駅
市川 秀雄 駅長



『駅の名シーン』は全駅の駅係員にアンケートを実施しました。駅長が代表してご紹介します！



〓 研修などを担当する
駅係員の「先生」

営業センター
佐藤 武彦 所長

読者ライターと京急がお届けする
まちレポ & 駅の名シーン

なぎさ創刊60周年記念企画として、『なぎさ』597号・598号で読者の皆さまに募集した「京急のまちレポート」と、京急線の駅係員から寄せられた自慢の「駅の名シーン」を一挙公開。おなじみの場所や駅に新鮮な発見があるかも。

まち
シボ **くらし**
久良岐公園



「屏風浦駅」から徒歩約20分

由緒ある能舞台が紅葉に囲まれた様子は、まるで別世界。スポーツ、自然、伝統芸能を堪能できる都会のオアシスです。(磯子区/落合 紀美さん)

まち
シボ **報国寺**



「鎌倉駅」から京浜急行バスで約12分、
<浄明寺>バス停下車、徒歩約3分

足利、上杉両氏の菩提寺。素晴らしい竹林を有していることから、「竹寺」とも呼ばれます。心身ともに安らぐ空間です。(成田市/PN. いるかさん)

周辺駅
名シブ **よこすかちゅうおう**
横須賀中央駅



横須賀中央駅
小松 朗朗 駅長

外国のお客さまが困っているところに、通りすがりの日本人の方が自然に声をかけていく、そんな文化のエリアです。

周辺駅
名シブ **みうらかいがん**
三浦海岸駅



三浦海岸駅
太田 芳孝 駅長

晴れて空気が澄み渡っている日は、千葉県の大堀山(のこぎりやま)が見えますよ。

周辺駅
名シブ **なかきど**
仲木戸駅



横浜駅
安藤 裕一 駅長

編成全体を撮影できる直線型ホームは意外と貴重。ちなみに仲木戸駅は、今年12月24日に開業111周年を迎えます!

周辺駅
名シブ **かながわしんまち**
神奈川新町駅



神奈川新町駅
高橋 康浩 駅長

駅付近の保育園から園児たちがお散歩にやってくる、電車に手を振る様子はほほえましいですよ。

周辺駅
名シブ **ひのでちよう**
日ノ出町駅



日ノ出町駅
遠藤 満昭 駅長

大岡川沿いの桜並木。満開の時期には、皆さんぜひ見に来てください!

周辺駅
名シブ **びょうぶがうら**
屏風浦駅



上大岡駅
上田 善義 駅長

ルーヴル美術館のルーヴル・ピラミッドのような駅舎が自慢です!

周辺駅
名シブ **かなざわはっけい**
金沢八景駅



金沢文庫駅
藤橋 幹男 駅長

真夜中に総合車両製作所から電車が陸送される様子は、いつも緊張感たっぷりです。

周辺駅
名シブ **あんじんづか**
安針塚駅



追浜駅
山村 真太郎 駅長

山が多い横須賀ならではの、トンネルから出てる列車が見える駅です。

周辺駅
名シブ **けいきゅうくりはま**
京急久里浜駅



京急久里浜駅
菊地 啓之 駅長

複数面あるホームに、赤、青、黄色の車両が揃う瞬間が!



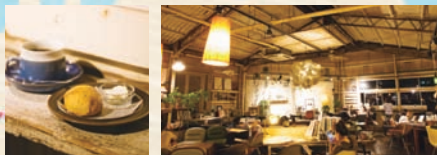
まち
シボ **京急線に乗って**

息子家族が住む浦賀へ向かい、京急ストアの新鮮な食材を使った手料理を振る舞うのが、一番の楽しみ。将来は孫たちだけで京急の電車に乗って、訪ねて来てくれるかな。(市川市/宮内 瑞穂さん)

まち
シボ **ヴェルニー公園**



「汐入駅」から徒歩約5分
海上自衛隊の基地などが近くにあり、民間船舶と艦船も見える。癒しスポットであると同時に、国際情勢の変化に即応する最前線。(横須賀市/國塚 隆志さん)



umie (うみえ)

倉庫や空き家をリノベーションした商業施設「北浜 alley(アリー)」。2Fの「umie」は、瀬戸内海の島々を一望できるカフェ。お酒やコーヒーをお供に、ノスタルジックなインテリアを満喫して。

☎087-811-7455 住 高松市北浜町3-2北浜 alley-h / 「高松築港駅」から徒歩約10分 営 11:00~23:00 (LO22:30) 土曜日 10:00~23:00 (LO22:30)、日・祝日 10:00~21:00 (LO20:30) 休 水曜日



まちのシューレ963

四国のおいしい食材をはじめ、洋服や工芸品など「誰に贈っても喜ばれるもの」を集めたセレクトショップ。カフェでは、野菜をふんだんに使ったランチが人気。

☎087-800-7888 住 高松市丸亀町 13-3 高松丸亀町 参番街東館 2F / 「片原町駅」から徒歩約 6分 営 11:00 ~ 19:30、カフェ 11:30~18:00 (LO17:30)、金~日・祝日 11:30 ~ 22:00 (LO21:00) 休 第3月曜日 (祝日の場合は振替有)



山内うどん

薪で焚いた釜でゆがくコシのある麺を求め、県内外からお客さんが訪れる。人気は「ひやあつ」。トッピングの揚げ物は、特大ゲソと昆布がオススメ。

☎0877-77-2916 住 仲多度郡 まんのう町大口1010 / 「琴電琴平駅」から車で約 17分 営 9:00 ~ 売り切れ次第終了 休 木曜日

ひと駅ごとに行きたいまち

香川県
高松琴平
電気鉄道

琴平線 普通電車の旅

なぎさ 60周年 & 600号 特別企画 京急旧600形に会いに

今年 60 歳を迎える京急旧600形は、京急線から琴平線に活躍の場を移して以来、「ことでん」の1070形として、今も高松の港と「こんびらさん」の間を走り続けています。線路のすぐそばまで迫る街並みに、讃岐平野ののどかな田園風景。『なぎさ』60周年&600号スペシャル編・出張「普通電車の旅」です！

ことちゃんが教える ことでんのおもしろ ルール

5



高松琴平電気キャラクター
ことちゃん

- 1 まずは「ことでん1日フリーきっぷ」をゲットだぞぞー
- 2 「一生に一度はこんびら参り」ことこと！
- 3 シートでは電車の揺れに合わせてジャンプホップ♪
- 4 瓦町駅付近の宿は夜遊びにも便利だことこと
- 5 終点まで約60分。街から山へ景色の変化を楽しもう

しょうゆ



須崎食料品店

おもちのような食感の太麺。生玉子と温泉玉子はお好みで。

☎0875-74-6245

ぶっかけ



高松といえば、 さぬきうどん！

定番の「かけ」、麺のコシを味わう「しょうゆ」、麺のツヤを堪能する「ぶっかけ」、のどごし抜群セルフながら、打ち立てのうどんが食べられる。「釜たま」。うどん店巡りで、お気に入りの食べ方を見つけよう。

はゆかけ

☎087-876-5377



讃岐平野の
あちこちにある
「おむすび山」。羽床駅
付近の「羽床富士」
こと堤山の麓は、
ことでん撮影の
絶好スポット。



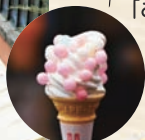
国の特別名勝
に指定されている
回遊式大名庭園。
海外の旅行ガイドでも
「わざわざ訪れたい
公園」と高評価。

栗林公園



金刀比羅宮御本宮

食べる良縁に恵まれる!?
参道で買える婚礼菓子
「おいり」ラキソフトクリーム



羽床

滝宮

さめきうどん
発祥の地

香川県民に大人気!
骨付鳥の専門店「一鶴」。
スパイシーな味わいと
鶏肉の旨味が絶品



一鶴 高松店 ☎087-823-3711
「高松築港駅」から徒歩約15分
<http://www.ikkaku.co.jp>

琴平
琴平



金刀比羅宮(ことひらぐう)

古くより海の神様、商売繁盛や縁
結びなどの神様として信仰される、
讃岐一の大社、通称「こんびらさん」。
石段は、御本宮まで785段、
奥社までは1368段。息を切ら
しながら、一步一步登った人の声
は、きっと神様に届くはず。

☎0877-75-2121(社務所) ㊚仲多度
郡琴平町892-1 / 参道入口まで「琴電琴
平駅」から徒歩約10分 ㊚無休



シロップは手づくり。
湯上がりにふわふわ食感の
がき氷いかが?



かけ

仏生山温泉(ぶっしょうざんおんせん)

門前町に佇むモダンな建物が目印。「美人の湯」と称される重曹泉
の浴槽は、全て源泉かけ流し。33℃の天然炭酸浴と高温浴を交互
に入るのがツウの楽しみ方。休憩所の壁に並ぶ「50m 書店」の古書
文庫は1冊200円。湯船に持ち込めるのが嬉しい。

☎087-889-7750 ㊚高松市仏生山町乙114-5 / 「仏生山駅」から徒歩約10分
㊚11:00~24:00、土・日・祝日 9:00~24:00(最終受付 23:00) ㊚休 第4火曜日
㊚中学生以上 600円、3歳以上 300円



琴平線の車両は、
「こんびらさん」の黄色!
ことでんカラーに
なった京急車両を
見に来てください
ことごと。

“ことでん”で会える京急車両

ことでんには、京急旧 600 形をはじめ、かつての京急車両が 4 種類走っています。

テールライト、ドア、車内のプレートに走行音。

京急の面影を探しながら、タイムスリップ気分を満喫しよう。



1070 形 2つのテールライトが目印



1956年に誕生。快速特急などとして活躍し、86年に引退した京急旧 600形(元は初代 700形)。ことでんでは運転台側の正面が貫通式に改造され、シートは全てロングシートに。テールライトは京急時代のもを再利用。通勤・通学時間に合わせて登場することが多い。

1080 形 京急の代名詞的 車両でおなじみ



元は、1959年から2010年まで京急の通勤型電車として活躍した京急旧 1000形。端正な顔立ちが人気だった。ことでんに譲渡したこの形は初期に製造したものだ。

1200 形 ことでんの 「ハッピートレイン」?



元京急 700形(2代目)。1967年に登場。京急初の片側 4 扉車両がそのまま採用された。ことでん初のラッピング電車、金刀比羅宮仕様の「しあわせさんこんびらさん号」はこの形。

1800 形 乗り心地は 京急そのもの



1974~76年の間に製造された、京急旧 1000形の後期製造車両。主幹制御、制動装置などの性能が改造されることなく、2007 年から長尾線を走る。

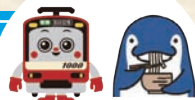
京急 大人の讃歌 懐かしの京急車両が活躍する讃岐路を訪ねて



※写真はイメージです。

『なごさ』600号を記念した、「大人の讃歌」初のお泊り企画です。

■開催日/ 2017 年 2 月 3日(金)~4日(土) ■コース/ 3日(金) 8:30 羽田空港集合~ 9:35 頃 羽田空港発・10:55 頃 高松空港着~ 昼食~ 高松琴平電気鉄道・仏生山車庫(見学・撮影会)~ 貸切列車イベント~ ホテル「高松東区 REI ホテル」宿泊~ 4日(土)「ことでん 1 日フリーきっぷ」で自由行動~ 19:40 頃 高松空港発・20:55 頃 羽田空港着~ 解散 ■募集人数/ 30 名さま(最少催行人員 10 名) ※添乗員同行 ■料金/ お一人さま 60,000 円(シングルのみ) ■お問い合わせ/ 03-5767-9717(平日 10:00~18:00 京急観光) ■詳しい旅行条件等をご確認の上、お申し込みください。



けいきゅん ことちゃん
がお出迎え

なぎさ 60 周年記念

クロスワード・パズル

特別号限定復活! 1980~2000年代の『なぎさ』で大人気だったクロスワード・パズルに挑戦しよう。

【解き方】

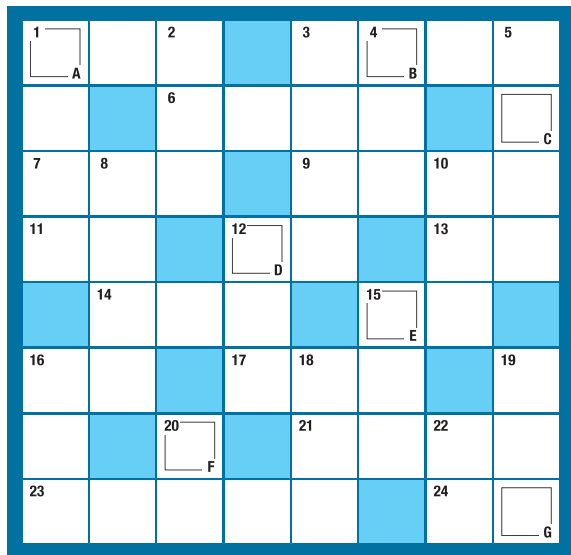
まず、カギを参考にして言葉を当てはめ、マスを全部埋めてください。次に、A~Gの文字を並べます。出来上がった言葉が答えです。答えをはがきに書いて送ってください。

【答えのヒント】

『なぎさ』は600号を迎えました。60年続けてこられたのは、支えてくださった皆さまがいらっしゃるから。心から感謝申し上げます。

【プレゼント】

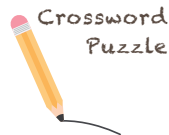
新旧1000形オリジナルQUOカード(500円分) & 京急オリジナル手ぬぐいのセット **60名さま**



ヨ
コ
の
カ
ギ

タ
テ
の
カ
ギ

- ① 品川駅の駅メロティは、ロックバンドくるりの「——」電車。
- ② NYのフードホールにある「——」ダイニングテラス。
- ③ 思いはかることも言語でも表現できないこと。
- ④ 撮影用に「——」した建物。本物そっくり。
- ⑤ 交差点を「——」するとき、しっかりと確認。
- ⑥ このクロスワードも、このトレイニングになります。
- ⑦ 猫はゴロゴロとよく鳴らしていますよね。
- ⑧ イベント列車「京急サイクルトレイン」はMY自転車「——」込み出来ます。
- ⑨ フアンからの熱い「——」を感じます。
- ⑩ 季節、過ぎ行く中の時点、その時。「寒さの——」「——」を見られますように。
- ⑪ この言葉が消え、世界に平和が訪れますように。
- ⑫ 大切な人との結びつきです。
- ⑬ きっかけは、横浜の外国人商館で見た真珠でした。日本の真珠養殖発祥の地。
- ⑭ 京急電鉄の人氣マスコットキャラクターの名前は?
- ⑮ 作品が『なぎさ』の表紙を飾ったこともある浮世絵師、歌川——。
- ⑯ 江戸時代に農民がこれを持ち寄ったことが名前の由来。KKO4「——」横丁駅。
- ⑰ 「——」堂々とした風格。関東でも見かけます。漢字だと「猪独立」と書くセリ科の野草。
- ⑱ ポーナス問題です。本誌の名前は? 日本神話の海を支配する神、海そのもの。
- ⑲ 駅名由来は鎌倉時代に遡る。駅番号はKK18。
- ⑳ 物事の筋道。自然界の法則のこと。
- ㉑ 真剣に悩んでいても、こう見られてしまう……。
- ㉒ 女子(じょし)をこう読むこともできます。ちなみに『葉山女子旅さつぷ』、男性も使えます。
- ㉓ 花嫁から受け取りたい!
- ㉔ デザインもという。
- ㉕ 春の田んぼを美しい景色にしてくれる天然の肥料。
- ㉖ 三浦市金田湾の漁師が養殖に取り組んでいます。
- ㉗ 小さめだと「タカ」と呼ばれます。



— クロスワード・パズル プレゼント応募方法 —

【はがきに下記必要事項をご記入の上、ご応募ください。】

- ①郵便番号・住所・電話番号、②氏名・年齢、③本誌の入手場所、④今号で面白かった記事、⑤本誌デザイン・内容についてのご感想、⑥クロスワード・パズルの解答

【締め切り】2016年12月19日(月)必着
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

【応募先】
〒108-0074 港区高輪 3-25-23 京急第2ビル 3F
(株)京急アドエンタープライズ『なぎさ』600号「クロスワード」係

北尾トロの 京急ゆるゆる紀行

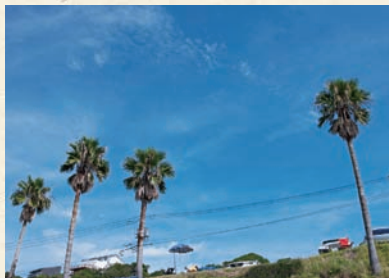
2005年から3年間連載していた北尾トロさんの人気コラムが記念号限定で復活！カメラマン・中川カンゴローさんと共に数年ぶりに訪れた三浦半島・三崎エリアをレポートします。



数 年ぶりに下車した三崎口駅は週末とあつて朝からにぎわい、バスを待つ列が延びていた。国道134号線沿いには新しい商業施設も増えているようだが、雰囲気は変わらず、どーんと横たわる大地と広い空が迎えてくれた。名産の大根だるうか、緑の葉っぱが目には鮮やかだ。
「でもやっぱり三浦といえば海でしょう。三浦海岸まで行ってみようよ」
カメラを抱えた中川カンゴローさんが国道の向こうを指差した。三浦海岸は僕たちのお気に入りの場所で、観光客の少ない穴場。



活況を呈す三崎港には「みさきまぐろきつぷ協力店」の印があちこちに。ついつい財布の紐が緩んでしまう。



スッキリ晴れた久しぶりの空。澄んだ空気に引き寄せられるように海がにぎわう。

カンゴローさん撮影



いつの間に
同じシーンを…?!

現在の本誌撮影担当は、偶然にもカンゴローの弟子。カメラアングルがちよっと似てる？



現『なぎさ』カメラマンの濱津さん撮影

運が良ければ正面に富士山を眺めることができる。さっそくタクシーで海まで。

「少し霞んでいるか。惜しいね」

富士山はシルエットしか見えな気が、せつかくだから浜を歩くことにした。沖には、たくさんさんのヨットが出ている。準備中の人に尋ねると、長く降り続いた雨がやんで太陽が顔を見せたためだという。防波堤には釣り人が鈴なりになって竿を出していた。気分がいいのはこちらも一緒なので、海岸線を散歩する。日差しが強い。とつくに終わった夏が、アンコールに呼んで再登場したみたいだ。

汗をかいた勢いで、畑の中を歩いて駅まで戻った。

「お、自然薯だ」

カンゴローが道路脇の雑草から芋のつるを発見。あの野菜は何だとか、最近は何倉野菜に対抗して三浦野菜がブランド化しつつあるらしいとか、日頃は交わさない話題に花が咲く。これは、てくてく効果だ。歩く速度で物を考えるからこういう雑談が生まれるのだと思う。万歩計の歩数は早くも8000歩に達しようとしている。

三崎港へ移動すると、ここも人が多い。近頃は交通機関と観光施設、食事がセットになった「みさきまぐろきつぷ」が人気を博しているとのこと、昼時とあって食事処には行列ができています。しかし、フフ、僕たちの狙いはマグロより地魚なのだ。寿司屋でアジや金目鯛を舌鼓を打ち、干物の店で土産のトロサバを確保。これだけで三崎にきた甲斐があるというものだ。

食後は昔ながらの商店街をぞろ歩きでスタート。シャッターを下ろした店もあるけれど、洒落たカフェなどもできて、世代交代が始まっている感じがする。と、以前と変わらぬ看板が見えてきた。本誌連載時にも訪れた創業天保4(1833)年の老舗「三富染物店」。そのときは、6代目の三富實仁さんと、7代目を継いだばかりの由貴さんに大漁旗の話を聞き、表で写真を撮ったのだ。お、店内がきれいになっているぞ。

「そうなんです。染め物のワークショップ



トロさん作の
ミニ大漁旗を1名さまに
プレゼント!



「ウチはアートやってるんじゃないからね(笑)」と筆の速いこと。真似してみたけど線に勢いがないかも……。



大漁旗で有名な「三富染物店」では各種飾り旗、暖簾やのぼりを扱い、親子で店の暖簾を守っている。最近ではマグロ柄の手ぬぐいが好評だそうだ。



きたお・とろ

1958年、福岡県生まれ。ライター。本、マンガ、裁判傍聴、狩猟など、好奇心のおもむくまま、さまざまな分野で執筆。『裁判長!ここは懲役4年でどうすか』『猟師になりたい!』『町中華とはなんだ』など著書多数。

<http://kitaotoro.blogspot.jp/>

も始めたので作業場も広くしました。今日はどうしますか。ミニ大漁旗でも作ってませんか?」

む。由貴さんのトーク力が明らかにアップしている。本気で家業をやっている証拠だと思ふ。というところで6代目と7代目から指導を受けつつ、旗に色を塗る作業を体験してみた。旗は実用品だから、効率よく色付けできるよう工夫が施されており、素人でもそれなりのものが作れるのだ。

「400年以上もここに住んでいる家の者として、三崎の良さを皆さんに伝えていきたいですね」(實仁さん)

その通りだ。では、いまどきの三崎も味わってみようとカフェに入店してみた。2階の窓から見える夕暮れの港が美しい。ここはカッパルの特等席だと気づいたオヤジたちは、少し照れながら、急ぎ気味にドリンクを飲み干したのだった。

【北尾トロの京急ゆるゆる紀行 読者プレゼント】はがきに下記必要事項をご記入の上、ご応募ください。

①郵便番号・住所・電話番号、②氏名・年齢、③本誌の入手場所、④今号で面白かった記事、⑤北尾トロさんへのメッセージ



『なぎさ』と 共に。

高見 恭子

はじめましてのごあいさつ、と題したエッセイを『なぎさ』に書かせていただいたから、長かったような、あつという間だったような時を経て。エッセイの1行目にある赤電話も今は携帯電話に替わり、心も全てに未熟だった私も、家庭を持ち、大学生の娘のいる働く母親になりました。今、『なぎさ』創刊60周年と600号を祝して、ご縁あり、こうして、その頃を懐かしみながら、自分の今までの断片を省みる機会を得て。

私自身も、私という人生鉄道の電車に乗って、曲がりくねったり、時にスピードをあげたりして、ここまでレールを走ってきたように思えます。心のどこかで、毎日規則正しく運行する京急の電車を支えにさせていただきます。



初詣は三浦七福神めぐり



カモメに見守られて、冬のアイナメ釣り

1977年の1年間、『なぎさ』のカバーガールを務めた高見恭子さん。初詣やアイナメ釣りなど、表紙と連動した見聞きグラビアページにも登場。モデル事務所に所属して1年目のかけ出し時代だった。

なぎさ

なぎさ 60周年記念 特別号
プレイバック編

